もりまち

第112号
2022

令和4年
11月

議会だより

旗の波運動
（森町交通安全母の会）9月2日

各所で啓発運動！

もうすぐ交通死亡事故ゼロ1000日達成！

生徒会赤い羽根共同募金活動とPTA交通安全街頭キャンペーン（森高等学校）10月8日

足形止まれ補修
（森町交通安全母の会）9月16日

【森町議会7月会議】
✤令和4年度補正予算等を審議 …… 2P

【森町議会9月会議】
✤令和4年度補正予算・条例等を審議 …… 4P
✤決算審査特別委員会委員長報告 …… 6P
✤町政のココが聞きたい9議員が一般質問 …… 8P

【議員視察報告（熊本県熊本市、熊本県菊陽町、静岡県森町）】… 15P
【委員会活動レポート（常任委員会活動報告）】…… 16P

▲森町議会
公式ホームページ

▲森町議会
YouTubeチャンネル

■発行／北海道森町議会　■編集／広報広聴常任委員会小委員会

森町議会ホームページアドレス　https://www.town.hokkaido-mori.lg.jp/bunya/gikai/

〒049-2393　北海道茅部郡森町字御幸町144-1　☎01374-2-2185　E-Mail gikai@town.hokkaido-mori.lg.jp

令和４年 第１回森町議会 7月会議

7月会議が、7月19日に行われました。
7月会議で決まった主なものは次のとおりです。

承　認

◆専決処分した事件の承認について

原案可決

令和４年度森町一般会計補正予算（第４号）

一般会計予算中の民生費の補正予算について、法律の規定により専決処分したことについて、議会の承認を求めるものです。

補正予算

◆令和４年度森町一般会計補正予算（第５号）

原案可決

（賛成12反対2）

歳入歳出に9,233万6千円を追加し、予算総額を121億8917万円とするものです。

《主な事業》

- **庁内ICT環境整備事業　6,851万円4千円**
  国が示す「新しい生活様式の実践」に重点を置きコロナ禍における職員のデジタルワークスタイルの環境を確立するため、庁内ICT環境の整備を目的とするもの
- **森町指定新型コロナ検査事業　668万8千円**
  PCR検査等について町内において迅速に検査が受けられるよう、検査所を設置運営するもの
- **森幼稚園移設改修工事調査設計業務委託　700万円**
  耐震診断結果を受け、森幼稚園の移設にあたり、工事の調査設計業務を委託するもの
- **森幼稚園遊具整備工事　850万円**
  耐震診断結果を受け、森幼稚園の移設にあたり、遊具の移設・新設工事を行うもの

森町指定新型コロナ検査所

森幼稚園

森小学校

討論

反対理由（斉藤　優香　議員）

庁内ICT環境整備事業では250台を正職員全員にタブレット型ノートパソコンが必要であるとは思えません。

今回は予算があるからではなく計画的にするべきで、とりわけ会議室用モニター55インチ3台、98インチ3台計6台が庁舎会議室に必要と思えません。町民が使える計画もなく体制に見合ったものを量・質ともに購入するべきである。

森町指定新型コロナ検査事業は、ＰＣＲ検査実施は大変喜ばしい事ですが、幅広い層の町民が利用しやすいものでなくてはならない、申し込み・結果通知はインターネットのみ、支払いはクレジットカード・電子マネー、そして結果は後日となれば町民のための検査体制になっていません。

森幼稚園移設改修工事調査設計業務委託および森幼稚園遊具整備工事は、耐震がない幼稚園児の安全確保のための暫定対応として森小学校移転というのは今とれる最善の方法なのかもしれませんが、在園保護者25名のアンケートに書かれた意見や疑問、不安もそのまま、まして小学校の保護者には何の説明もありません。

保育・教育の中長期的計画を持ち、計画的に取り組むべきある。

反対討論（松田　兼宗　議員）

私は、今日の話を聞いていると、つくづく事業内容を吟味されていないというふうに思っています。ただ単に国からの補助金があるからやろうとしているだけにしか思えない。それだって税金ですよ、我々みんなの。その補助金があるから、単に無駄なお金というか、余分な必要もないものを買おうとしている。そんなのもうやめませんか。十分に今回否決する中で再度吟味しながら再度上げるべきだと私は思います。そういう意味で今回の3つの事業に関しては反対の私は質疑を行いましたけれども、話聞いていると満足する回答は得られていると思っていません。そういう意味において再度吟味しながら再度提出していただきたいと私は思いますので、反対したいと思います。

賛成討論（山田　誠　議員）

今現在世界的にデジタル化しており、早めに導入して乗り遅れないようにしなければ町の業務対応が難しい状況にあるというので早急に導入すべきである。

コロナの検査事業につきましては、コロナが近日増加の傾向にあると。森町もそういう格好で町民の生命、財産を守る責任があるので、早急にこれらを対応すべきである。

それから、森町の幼稚園の移設については、遊休の小学校が、施設が空いているということで、今の幼稚園が老朽化して耐震度が下がっているということで、幼児の安全教育のためにはぜひそこに移設をして幼児教育の振興を図るべきである。

その間に町長の考え方もあるように、認定こども園どうするかということはその後の対応であると思うので、私は原案に賛成するものです。

賛成討論（髙橋　邦雄　議員）

庁内ＩＣＴ環境整備事業につきまして、町としての業務を停滞することなく、遂行する上で必要不可欠であり早急に導入すべきであります。

森町指定コロナ検査事業（ＰＣＲ検査）に関して、町民の安心、安全を遂行する上で重要事項であり、今後、感染拡大を防ぐためにも、事業自体を早急に推進すべきであります。

森幼稚園移設に関しましても、現幼稚園の耐震度が低下していますので、幼児の安全を第一に考慮しなければなりません。幼児教育のより一層の推進に期待しまして原案に賛成いたします。

その他

◆財産の取得について【汚泥運搬用４ｔダンプ　1台】 原案可決

契約者:北海道いすゞ自動車（株）函館支店　契約金額：9,075,000円

令和４年 第１回森町議会 9月会議

9月会議が、9月1日から15日までの日程で行われました。
9月会議で決まった主なものは次のとおりです。

承　認

◆専決処分した事件の承認について　原案可決

令和４年度森町一般会計補正予算（第６号）

一般会計予算中の農林水産業費の補正予算について、法律の規定により専決処分したことについて、議会の承認を求めるものです。

条　例

◆森町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定について　原案可決

地方公務委員の育児休業等に関する法律および育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律並びに雇用保険法の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行に伴い所要の改正を行うものです。

◆森町福祉灯油等の助成に関する条例の一部を改正する条例制定について　原案可決

福祉灯油等の助成対象世帯である特定疾患医療受給世帯の定義について対象世帯を拡大するための条例改正を行うものです。

補正予算

◆令和４年度森町一般会計補正予算（第３号）　原案可決

歳入歳出に4億7267万8千円を追加し、予算総額を120億9354万7千円とするものです。

《主な事業》

● **町地域公共交通実証運行委託業務** …… 443万円

地域公共交通バスを運行するにあたって新たな公共交通導入の検討に向けた実証運行を実施するもの

実際に運行しているバス

- **森町高齢者世帯等生活支援事業　1,020万円**
  コロナ禍における原油価格や物価高騰の影響を受ける低所得の高齢者世帯及び障がい者世帯等に対して1世帯1万2千円を給付し、その影響緩和を図るもの
- **新型コロナウイルスワクチン接種対策事業及び接種体制確保事業　3,929万6千円**
  オミクロン株対応ワクチンによる追加接種を速やかに実施し、感染拡大を抑制するとともに感染者の重症化予防を図るもの
- **冬期就労対策事業　1,400万9千円**
  冬期間の季節労働者及び冬期未就労者の就労対策を実施するもの
- **持続的畑作生産体制確立緊急対策事業　232万円3千円**
  畑作産地において、需要のある作物への転換等の課題に対応するため、新たな需要拡大の取り組みを支援するもの
- **飲食プレミアム販売事業補助金　1,030万円**
  8月に申し込みを受け、販売予定数を超えた分について予算計上を行うもの
- **森町公民館・役場庁舎等複合施設整備事業　69万円**
  複合施設の整備検討を行うにあたり、一候補地の埋蔵文化財の有無を確認するため試掘調査を行うもの

◆令和４年度森町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）　原案可決

歳入歳出に16万5千円を追加し、予算総額を24億2,749万4千円とするものです。

◆令和４年度森町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）　原案可決

歳入歳出の総額は変更せず、予算総額を2億5,227万6千円とするものです。

◆令和４年度森町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）　原案可決

歳入歳出に4,208万7千円を追加し、歳入の項目を変更し予算総額を21億5,583万4千円とするものです。

◆令和４年度森町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）　原案可決

歳入歳出に51万8千円を追加し、予算総額を2億6,399万円とするものです。

その他

◆財産の取得について【職員用タブレット型ノートパソコン等】　原案可決

契約者:(株)エスイーシー　契約金額:53,900,000円

報　告

◆令和3年度森町財政健全化判断比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率はともに基準値内

◆令和3年度森町資金不足比率

病院、水道、下水道の各事業会計ともに経営健全化基準値内

人　事

◆人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（3件）・・・可と答申

次の方を推薦することについて、可と答申しました。

佐藤　洋 氏（再任）　・長谷川 尚子 氏（再任）　・島田 宏信 氏（新任）

人権擁護委員とは

人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いや、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済、地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえるような啓発活動を行ったりしています。また、任期については3年です。

決　算

◆認定第1号　令和3年度森町各会計歳入歳出決算認定について・・・・・・・・認定　全会一致

◆認定第2号　令和3年度森町国民健康保険病院事業会計決算認定について・・・認定　全会一致

◆認定第3号　令和3年度森町水道事業会計決算認定について・・・・・・・・認定　全会一致

◆認定第4号　令和3年度森町公共下水道事業会計決算認定について・・・・認定　全会一致

決算審査特別委員会委員長報告

令和4年9月15日

決算審査特別委員会　委員長　菊地康博

令和４年9月２日、令和4年第1回森町議会9月会議において本委員会に付託されました認定議件4件を審査した結果、次のとおり決しましたので報告いたします。

1. 付託議件名

認定第１号　令和３年度森町各会計歳入歳出決算認定について
認定第２号　令和３年度森町国民健康保険病院事業会計決算認定について
認定第３号　令和３年度森町水道事業会計決算認定について
認定第４号　令和３年度森町公共下水道事業会計決算認定について

2. 審査日程及び経過

◆9月5日　出席委員11名

各担当課長等から決算書及び報告書をもとに、予算の執行状況について説明を受けました。

◆9月6日　出席委員10名

森町一般会計の歳入及び歳出について質疑を行いました。

◆9月7日　出席委員10名

森町国民健康保険特別会計、森町後期高齢者医療特別会計、森町介護保険事業特別会計、森町介護サービス事業特別会計、森町港湾整備事業特別会計、森町ホタテ未利用資源リサイクル事業特別会計の歳入・歳出、並びに森町国民健康保険病院事業会計、森町水道事業会計、森町公共下水道事業会計の収入・支出について質疑を行いました。

3. 審査の結果

付託された認定第1号から認定第4号まで認定すべきものと決しました。

4. 決算審査特別委員会の審査について報告いたします。

令和4年第1回森町議会9月会議において、本委員会に付託されました、認定第1号、認定第2号、認定第3号及び認定第4号について、休会中の9月5日、6日及び7日の3日間にわたり慎重審議のもとに審査を終了し、起立採決の結果、認定第1号から認定第4号まで全員一致で認定すべきものと決しました。

町理事者におかれましては、委員会審査の過程で出された意見や要望等を踏まえ、今後の施策に十分反映されることを強く望むものであります。

また、過去の本会議等でおいて、議会の十分な理解を前提とした案件の予算化やその決算においては、特に内容の丁寧な説明と十分な理解を得た上で進めることを具申します。

さて、新型コロナウイルスの発生からすでに3年目を迎えておりますが、いまだ終息が見通せず、さらには、ロシアのウクライナへの侵略という世界的な事案の発生により、ますます先が見通せない不安定な状態が続くものと思われます。

そうした要因による地元経済の疲弊等により、安定した財源確保が期待できない場合を想定しながらも、歳出においては、引き続き徹底して無駄を省きながら予算執行管理を適正に行い、町民サービスの低下を招かぬことが重要であると考えるものであります。

なお、本特別委員会は、議長及び監査委員を除く14名で構成した特別委員会でありますが、それぞれの立場で出席を願いながら、慎重審議したものでありますので、詳細な報告は省略いたします。以上、委員会報告といたします。（報告書原文を掲載）

意見書

◆安倍氏の国葬撤回と弔意を強制しないことを求める意見書　原案否決

（賛成4：反対8）

◆国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書　原案可決

（賛成11：反対1）

可決された1件について、各関係省庁に送付しました。

町政のココが聞きたい!!

一般質問9議員11件

○一般質問とは・・・
議員個人が町に事務の執行状況や将来に対する考え方など報告説明を求め、
適切な町政運営を進めているかのチェックや新規政策等を求めるものです。
（3・6・9・12月の年4回行っています。）

Q 北海道新幹線並行在来線対策について 幼稚園・小学校・中学校の統廃合について	松田　兼宗 議員	9P
Q 伝統的郷土芸能の継承保存及び郷土館の活用について	髙橋　邦雄 議員	10P
Q 高齢者ドライバーの免許証返納対応について	山田　誠 議員	10P
Q 市街地の現状と地域活性化対策について	東　隆一 議員	11P
Q 気候非常事態宣言について	木村　俊広 議員	11P
Q 庁舎壁面の活用について	宮本　秀逸 議員	12P
Q 公共施設の老朽化について	斉藤　優香 議員	12P
Q ニューアカシア団地の物置改修について 土地改良事業と下水道事業に係る不納欠損処理の責任問題について	檀上美緒子 議員	13P
Q 青少年スポーツ、文化活動支援について	河野　文彦 議員	14P

問 北海道新幹線並行在来線対策について

【松田　議員】

3月27日、沿線9自治体と道は、令和12年度末予定の北海道新幹線の札幌延伸に伴い、JR北海道から経営分離される並行在来線の函館線小樽―長万部（140.2キロ）が、バス転換することで合意され、廃線が決まりました。

道と沿線15自治体は函館線の存廃について、小樽―長万部と長万部―函館（147.6キロ）の二つに分けて協議されてきましたが、森町が関係する長万部―函館は議論が進んでいないのが現状だとされています。事実、「北海道新幹線並行在来線対策協議会」は、昨年4月26日の第8回渡島ブロック会議を最後に開催されていません。

今後、森町は砂原線を含めた「長万部―函館」間の路線を存続するのか廃止するのかの判断を迫られることになります。

そこで、現時点での町長のお考えをお聞きします。
また、今後、議会や町民への情報提供と議論の場を設け、意見集約を図る考えがあるのでしょうか。

答 今後、議論を深めていく

【岡嶋　町長】

引き続きブロック会議において地域交通の確保、方策の方向性を見いだし、今後の地域交通の在り方について議論を深めていきます。現時点での情報を基に議会や町民の皆様へ説明を行った上でご意見をいただき、議論を重ね、まずは町としての考え方をまとめ、次のブロック会議に反映していけるように努めていきます。

問 幼稚園・小学校・中学校の統廃合について

【松田　議員】

7月19日、森幼稚園移設改修工事調査設計業務委託700万円と森幼稚園遊具整備工事850万円が賛成多数で可決され、森幼稚園の森小学校への幼小一体型施設として整備することが決まりました。その決定された理由は、保護者アンケートの結果の意向を受けてのものであるとされています。そこで、今後に予想される幼稚園・小学校・中学校の統廃合においてもそれが踏襲されるのでしょうか。

特に、耐震診断結果が出ている駒ケ岳小学校、今年度内に耐震診断結果が出る尾白内小学校、さらに次年度から全学年複式学級となると鷲ノ木小学校が対象となると考えるが如何か。また、今後急激に生徒数が減少する砂原幼稚園・小学校・中学校も統廃合の対象となると考えられるが如何か。そして、自治法第2条第14項には、「地方公共団体は、その事務を処理するに当つては、住民の福祉の増進に努めるとともに、最小の経費で最大の効果を挙げるようにしなければならない。」と地方公共団体の事務処理についての原則が規定され、文部科学省においては、統廃合に関する基準を1学年1学級以下になった場合をめどに検討を自治体に求めています。

森町の全ての幼稚園・小学校・中学校の保護者の意見を集約するためのアンケートを早急に実施し、教育委員会としての方向性を示すべきであると考えるが、如何か。

答 合意形成に努めながら進める

【毛利　教育長】

町の考える方向と保護者との合意形成に努めながら進めてきたところであり、保護者アンケートの結果をそのまま反映したということではありません。

学校規模適正化、適正配置に一律のルールを決めて線引きをするのではなく、学校施設ごとの置かれている状況を把握し、保護者、地域の方と情報共有を行いながら、合意形成を図った上で進めていきます。

問 伝統的郷土芸能の継承保存及び郷土館の活用について

【髙橋　議員】

地方の時代や文化の時代と呼ばれるように、身近な地域を中心として地域住民の間で地域固有の個性豊かな伝統芸能活用等の取組みが急速に高まっています。現在、森町には数多くの郷土芸能があり各団体は保存会を立ち上げ、後世に継承すべく活動されていますが、保存会を維持していくために大変苦慮されているのが現状です。これら郷土芸能を維持していくためにも、育成強化を図り町の活性化の一助とすべきです。地域の伝統文化は、町民共有の財産であり地域の魅力を創出するものです。当町も観光イベント等に力を入れていくわけですから、森町のＰＲ財産として助成や支援等を行い、継承保存をしていくべきと考えます。

また、当町には森町公民館郷土資料室や砂原郷土館などに貴重な文献などが展示されています。現在に至るまでの町の移り変わりなど、町の歴史を後世に伝えていくことが大切であると考えますが、教育長の所見を伺います。

答 可能な継承保存支援や有効な利活用に努めてまいります

【毛利　教育長】

郷土芸能は、森町の発展や人々の暮らしに関わり、演じられながら継承されてきました。各種イベントや祭典の中でも演じられ、会場に彩りや活気を与えています。昨年は、コロナ過により直接的な交流が制限される中でも、友好町である外ヶ浜町との交流事業の一環として、一部郷土芸能の演奏を映像データとして交換し、それぞれの町で活用しＰＲ活動を行っています。継承保存につきましても各団体からの要望内容を精査し、可能な支援を行ってまいりたいと考えております。

また、森町公民館郷土資料室及び森町郷土館につきましては、森地区、砂原地区に係る先人たちの育まれてきた暮らしが分かる生活用具や、町の歩んできた経過をかいま見れる写真など郷土資料を展示している施設となっており、町の歴史を理解することで郷土愛が育まれるものと考えております。引き続き郷土史を学ぶ機会の創出に努めてまいりたいと考えております。

問 高齢者ドライバーの免許証返納対応について

【山田　議員】

交通違反歴がある75歳以上の高齢者ドライバーを対象に、令和４年５月に導入された運転技能検査、要するに実車試験ですが、道内で７月末に441人が受検し、10人（約２％）が不合格でありました。運転免許証の自主返納は、道で令和３年が１万9,000人、令和４年は６月までに9,000人となっております。

我が森警察署管内取扱いの森町だけで返納者は５年間で147人と年々増加するものと推定されております。1週間で毎日乗っている方が51%、3日以上が18%、2日以下が26%、運転しない人が５％と森警も高齢者の免許返納に相当期待しているようです。事故が起きてからでは大変です。高齢者の免許証の自主返納は、交通事故撲滅対策にも繋がると考えます。森町では、公共交通の実証運行計画が策定され10月より実証運行を行う予定となっております。各種ショッピングセンター、各種医療機関等々を通過することになっているようですが、乗降箇所については、デマンドバスまではいかないにしても、特に免許証返納高齢者ドライバーの方々の日常生活に支障のないよう十分な配慮した取り組みを行うべきであると思慮いたしますので、町長の所見をお伺いいたします。

答 持続可能な交通体系の構築に努める

【岡嶋　町長】

高齢者の皆さんには、はつらつと生き生きと暮らしていけるような拠点も整備しつつまちづくりの一環として進めてまいります。

実証運行には乗車人数、停留所の利便性、運行ダイヤの確認など、データ収集が主な目的であることから、結果を検証し、町民の皆さまがご利用しやすくなるよう持続可能な交通体系の構築に努めてまいります。

問 市街地の現状と地域活性化対策について

【東　議員】

JR森駅前から中心市街地は、町の街路事業計画に基づき9年の歳月をかけてヨーロッパ風の新しい商店街が形成され、今年で22年になりますが、市街地は今でも金融機関、医院、役場、商業、公益施設が集まり、住民の日常生活を支えており、森町の顔でもあります。

近年の生活様式、また人口減少、大型店の進出等、商店街の環境は日々厳しさを増し、閉店した店舗はシャッターを下ろしたまま開かずの店舗が多数を占めている現状であります。第2次森町総合開発振興計画の中で、商工業計画に「住民の日常生活を支えながら観光客にも親しまれる商店街が増えるように支援する」とありますが、地域商業の活性化のため支援施設整備計画をどのように検討しているのか、町長の所見を伺います。

答 地域の持続可能な発展に向けた商店街づくりの検討を考えている

【岡嶋　町長】

中心市街地の拠点として魅力や活力が低下していると考えます。再度地域商業機能を充実させ地域住民や観光客が集い、活力あるまちづくりを進めるため定期的、持続的に行く機会を作るイベントの実施や公共交通機関等で市街地に来た高齢者や体の不自由な人たちも楽に移動できるシステムづくりなどの支援整備、商店街全体をスーパーに見立て、利用者の利便性向上を通じて市街地を訪れる人の増加につなげる取り組みや、学生、関係団体等が連携し若者の柔軟な発想を商店街づくりに取り入れるなど地域の持続可能な発展に向けた商店街づくりを検討していかなければならないと考えております。

問 気候非常事態宣言について

【木村　議員】

地球温暖化による気候変動は森町にとっても深刻な脅威であるので、気候非常事態宣言をし、「持続可能な森町を次世代へと繋ぐ取組みを進める」と言う内容と成っております。現在前浜でも磯焼けなど深刻な状況がありますが、数年前より昆布投石事業を行っております。この事業を拡大し継続的に行う事により、藻場形成されれば、前浜でのCO^2を吸収する能力が格段に向上するものと思いますが、どのようにお考えか。また日本国内でのEV車普及率が低く世界的に遅れを取っております。その大きな原因は急速充電ステーションが不足しているからであります。町長が自ら営業マンと成って自動車メーカーを訪問し、設備費などを企業版ふるさと納税で賄えるように、寄付のお願いをして頂きたいと思います。芸能人の方も『やっちゃえ』と言っております。

『やっちゃえ』森町！　　『やっちゃえ』岡嶋！

答 『やっちゃいます』森町！

【岡嶋　町長】

昆布の二酸化炭素吸収量は海洋のなかでも抜群である事は明らかになっております。吸収した二酸化炭素のクレジット化で売買できる仕組みも有りますので、しっかりと活用し、産業の中で産んだ負担感ではなく価値に変える仕組づくりを行政が先頭を切ってやって行かなければ成らないと思います。

自動車産業に対するゼロカーボンへの町内の動きを企業版ふるさと納税で売り込んで、寄付をいただいて施策に反映していくというのは、検討の余地があると考えております。またそのスキームを使って様々な事業者さんにもいろんな投げかけが出来ると考えます。町長が自ら打ち上げた政策、公約を町長が資金を集め、政策を外にセールスして新たな価値を生み、それをさらに町外の方々に評価して広めて頂いて森町を宣伝していく、一石二鳥どころか三鳥、四鳥あるかと思っております。攻めの姿勢で進んでいきたいと考えております。

問 庁舎壁面の活用について

【宮本　議員】

2020年に森町は北海道で初となる気候非常事態宣言を行いました。その後道内でも増えてきております。SDGs　17項目の中の一つですが、喫緊の課題として世界中でとり組まれております。

森町においても更なる町民の皆様への啓発のためにもシンボル的な標柱等が必要だと提案してまいりました。今年度の予算に計上されておりませんが町長の考えを伺います。

答 森町の5つの宣言を全て記したい

【岡嶋　町長】

気候非常事態の町として、さらなる啓発を図るため、標柱や碑などのモニュメントの必要性は十分理解しております。設置については、協議した経緯がありますが、当町には気候非常事態宣言を含め5つの宣言を全て記す事を考え、標柱では記せないと判断いたしました。今後は、全宣言をどのようなデザインで作成するかどこに設置するかなど計画的に進めできる限り早急に設置できるよう努めてまいります。

問 公共施設の老朽化について

【斉藤　議員】

これからの森町をどのような街にしたいのですか。町の公共施設のほとんどが老朽化しております。裏を返せば30年～40年前は新しい公共施設ができ、町には活気があり町民が自慢できる町であったと思います。

これからの人たちのために50年先を見据え、基本構想をもとに町民が使いやすく、誇りに思い、住み続けるまちづくりが必要であると思います。

文化・教育施設の老朽化は一時しのぎの修繕では追い付きません、不便、不自由です。先ずは多くの町民が望む公民館、図書館、体育館、郷土資料館などを複合した文教施設の計画を早急に着手するべきです。

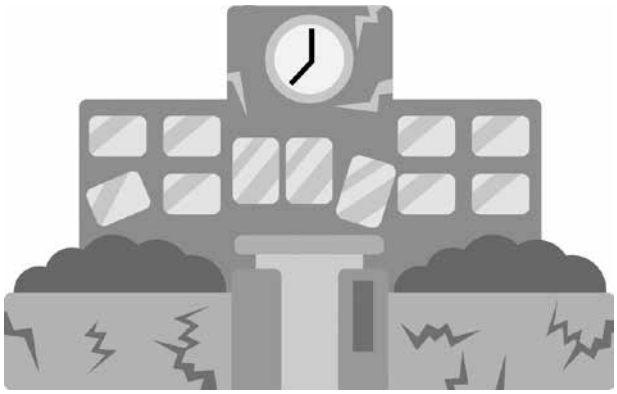
また、古くとも有効活用できるものは民間利用なども視野に入れ、保存と利活用を促進し、次の世代に引き継いでいくことも大切であると考えます。

答 検討委員会立ち上げます

【毛利　教育長】

複合文教施設の計画についきましては、現在公民館、役場庁舎等の複合施設建設の検討委員会立ち上げの準備を進めており、第1回目の実施を今月中にでもする方向で準備が進んでいます。

体育施設については、施設状況の全体的把握や効率的、中長期的な施設改修を見据えた社会体育施設長寿化計画を本年度中に策定し、各施設に係る今後の方向性について検討を進めていくとともに、施設利用者安全確保の観点から、本年度の町民体育館をはじめとした改修実施の対応も行ってまいります。公共施設の民間利用につきましては、森町財産規則の基準にのっとり、利用可能な部分は有効活用していきたいと考えております。



問 ニューアカシア団地の物置改修について

【檀上　議員】

すでに補正予算でニューアカシア団地の物置修繕が決まりましたので、その経緯や今後の見通しについて質問いたします。

補正予算は突発的、緊急的な場合、必要に応じて組むべきもので、物置改修は、私が1期目の時と令和２年に1棟2戸が改修されたときに質問や要望をしており、ニューアカシア団地が長寿命化住宅であることから本来なら補正ではなく計画的に当初予算で計上すべきものと思います。

改修実施にあたっては、住民の意向と物置の実状把握、住民への説明や周知が重要ですし、今後の改修見通しについてもお伺いいたします。

ニューアカシア団地物置

答 今年度は８戸の改修を実施

【岡嶋　町長】

ニューアカシア団地の物置については，これまでも不具合の都度修繕してきましたが、今年度中に8戸、次年度以降6戸合計14戸を上台団地から移設し、残り４戸は新設と、計画的に整備したいと考えています。

計画性を示し当初予算でというのはその通りと考えますが、緊急性、突発的に起こることや、修繕費では不確定なものもあり実施の状況に応じて修正計上をしています。ちなみに今年度の修繕費では、緊急修繕として共用部の駐車場街灯、度杭崎団地の灯油メーターの交換等、試掘調査は役場庁舎と公民館の複合施設の候補地を絞り込むため埋蔵文化財の関係で急ぐことから補正予算で措置させていただきました。

上台団地物置

問 土地改良事業と下水道事業に係る不納欠損処理の責任問題について

【檀上　議員】

昨年度、駒ヶ岳地区土地改良事業受益者負担金と施設利用料、下水道事業受益者負担金の長年に及ぶ不適切な滞納者への対応と事務処理から２億円を超える不納欠損をせざるを得なくなり、議会全員協議会と住民説明会の開催、町長の町民へのお詫び文書発行等がありました。しかし、町民の多くはその原因と額の大きさに納得しがたい思いでおり、住民説明会で求められた責任問題を含めた報告書の作成が急がれます。

職員は不適切な事務をやったのであり、前の理事者の梶谷氏と佐藤氏は当時の理事者としての責任がありますから、聞き取りだけでなく何らかの形で責任を取る必要があると思います。私自身も議員としての責任の取り方を考えなければならないと思っています。「現町長が」ということでなく、職員、前も含めた理事者、議会に関わってその責任を明らかにしなければ町民に納得してもらえないと思います。

住民説明会では「今年度中に、間に合わなければ中間報告を出す」と答弁しています。今現在の進捗状況と見通し、とりくみ体制についてお聞きします。

答 年度内に調査報告書を作成し報告

【岡嶋　町長】

これまで預金照会、差し押さえ等の債権回収、庁舎内の連携構築や研修・視察などに取り組んでいます。

報告書の進捗状況は、職員の聞き取りを継続しており、前理事者２人には照会中で、総務課・農林課・上下水道課の３つが主体で進めています。現段階で特段報告できる内容はありませんが、しっかりと進め、報告書に反映していかなければと認識しています。

前理事者の責任は、結果として報告書を出し町民の皆様がどう判断されるかを含め私の責任と考えています。職員についてもしっかり考えなければなりませんが、町長の采配・意向が職員に強くかかると感じており、当代の私の責任と考えています。

問 青少年スポーツ、文化活動支援について

【河野　議員】

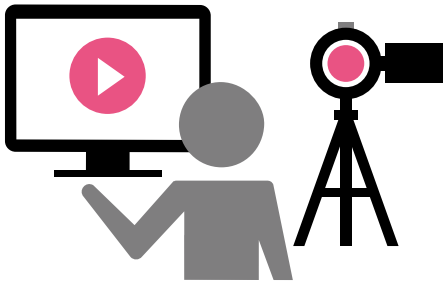
スポーツ、文化活動は体力、集中力、コミュニケーション能力の向上など、青少年の健全育成には必要不可欠です。森町はスポーツ少年団や部活動、各種文化団体、サークルなどの活動が盛んであり、それぞれの活動を通じて町民の方々と青少年、保護者の方々が交流を深めながら努力を積み重ねております。また、町内では活動することのできない活動では近隣地域の団体に所属して活躍している青少年が数多くおられます。いずれも森町という地域に誇りと愛着を持ち、森町の代表であるといった気概で日々修練を重ねていると言っても過言ではありません。教育執行方針では、「心の潤いとなる文化芸術活動の推進、健全な心身を育てるスポーツ活動の推進」とうたわれており、「様々な活動への支援を進める」と記載されております。森町の青少年がスポーツ、文化活動にてより一層の躍進を後押しするためにも従来の規定にとらわれない支援が必要と思われますので、所見を伺います。

答 町として様々な支援を検討する

【毛利　教育長】

児童生徒のスポーツ活動や文化活動に関しては、その活動の中で様々な事柄に挑戦することによって成長期における児童生徒の心身の健全育成はもとより、他者との関わりや規範意識などの社会性を育みながら一人一人が持てる力を高揚し、達成する喜びから努力の大切さを日々学んでいます。また、子供たちは学校生活を基本としながら活動を行っており、町内少年団や学校部活動が主な活動内容となっていますが、町内のスポーツ団体や文化団体で活動できない場合に近隣地域の団体などに所属して活動している場合があるのも確かであります。ご質問の内容ですが、支援には金銭的支援、人的支援などいろいろな内容があり、スポーツ活動及び文化活動にも様々な活動の形が想定されますので、現在行っております規定にのっとった支援を継続しつつ、今後町民のスポーツ活動や文化活動のニーズを精査しながら、支援の方法に関して協議検討を重ねていきたいと思っております。

YouTubeで一般質問の録画映像が見られます



北海道森町議会公式チャンネル

北海道森町議会
チャンネル

**チャンネル登録し、新しい動画が公開されると
通知を受け取ることもできますので、
ぜひチャンネル登録をお願いします。**

YouTube　北海道森町議会　検索

議員視察報告（熊本県菊陽町、熊本県熊本市、静岡県森町）

森町議会では、議員9名が参加し令和4年5月17日から20日の日程で行った行政視察の概要を報告します。

【5月18日午前　熊本県菊陽町】

◎企業誘致の取り組み

平成9年より企業誘致プロジェクトを進め、大企業２社（ソニー・デンソー）を誘致し、道路や上下水道等の基盤整備を推進した結果、人口が増加し人口増加率は5.8%（2015年国勢調査）と国内第4位となり、町一般会計は212億円（令和2年度決算）を超えている。

森町でも町企業誘致を進めるにあたり、インフラ整備を主とした基盤整備を推進することが重要と、認識した。

【5月18日午後　熊本県熊本市】

◎熊本地震以降の対応策

令和2年の熊本地震発生時は危機管理室から防災情報を流すも、指定避難所になっていていた小中学校が被災し避難できなくなったところもあったが、グラウンドを開放して車中泊が可能になった。各避難所運営委員会は各区役所対策部と連携し、車中泊避難者名簿作成や物資供給等も行う。また、これまでの総合防災訓練を行政と市民が一体となった実質的な訓練（避難所開設・避難所運営や物資供給訓練等）に一新した。

森町でも地域と連携した、より実質的な訓練が必要と痛感した。

【5月19日　静岡県森町】

◎地域公共交通

現地調査やニーズヒアリングをし、公共交通網のあり方、課題、基本方針、目標等を検討し、町民が身近に感じる利用促進を図る。

安心で自由な外出ができる便利な公共交通、交通弱者の移動手段確保に向け、町民意向調査を基に町民・交通事業・行政等が協働で進めていく重要性を認識した。

◎静岡県森町議会議員との意見交換会

総合体育館を視察後、全国的に少子高齢化・人口減少化の中、地域の特性を活かし、地域行事等を見直し、各地から足を運んでもらえる魅力ある町づくり・地域づくりを行政と町民とが一体となって構築する必要性の意見が出された。

今回の行政視察を今後の森町の町づくりにどう活かしていけるか、行政にいかに反映させるかを考え、今後の議員活動に活かしてまいります。

委員会活動レポート

総務経済常任委員会

3日間にわたり6課13項目の報告を受け質疑した中からいくつかを報告します。

7/25

花いっぱい運動について〈商工観光労働課〉

担当課より国道278号線沿いの花壇を30年間地元ボランティアで整備しており，今後も持続するため意識向上や企業・団体の協力に努めるとの報告でした。委員からは参加者の高齢化や団体数の減少が見られることから新たな参加者募集や品評会等のアイディアで楽しい事業にするよう意見が出されました。

森町商店街の振興発展について〈商工観光労働課〉

地域経済対策としてプレミアム商品券や応援券の発行，行政ポイント事業等を実施し，空き店舗や後継者問題では商工会議所・商工会と連携したり，地域おこし協力隊などを活用して解決に努めているとの報告でした。委員からは各店舗の抱えている課題はそれぞれなのでしっかりと聞き取り解決策を見出すことが必要との意見が出されました。

ハザードマップ改定後の取り組みについて〈防災交通課〉

新たな津波浸水想定地域が設定されたので防災知識（避難経路，避難場所，備蓄品等）の普及啓発をしているとの報告でした。委員からは津波の規模によって避難地点が変わる場合いち早く町民への伝達ができるようなマニュアル化が必要との意見が出されました。

7/27

地域おこし協力隊のとりくみについて〈企画振興課・農林課〉

現在4名の隊員がちょっと暮らし体験事業，地域ブランド事業，森町PR動画撮影，森町公式ユーチューブ投稿に取り組み，地域材の新たな用途やブランド化等に挑戦するとの報告でした。委員からは町民に活動内容をアピールし、知ってもらい隊員を歓迎する機運が重要との意見がだされました。

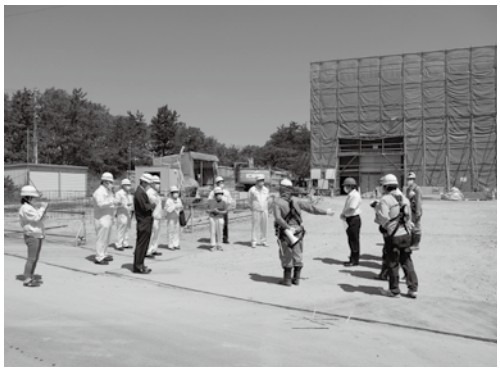
地方バス路線の現状とデマンドバスの進捗状況〈企画振興課〉

函館バスの森出張所は閉鎖になるが3路線は維持され，巡回バスの実証実験を行い様々な意見を頂きながら新たな公共交通を創出するとの報告でした。委員からはまずは実証実験を行いながら，便利なシステムを構築するため縦割り行政ではなく他の課との連携を求めました。

Committee activity report

民生文教常任委員会

7/26
汚泥再生処理センター新築現場視察とごみ・環境問題〈環境課〉



砂原東5丁目に新築中の汚泥再生処理センターの現場を視察後、環境課より説明を受けて質疑をしました。

全体的にゴミは減少傾向にあり、分別意識の向上と人口減少が要因と思われます。今後もゴミ減量化の補助事業やゴミステーション譲与事業、広報活動等の充実強化を図っていくとの報告でした。委員からは、町内会等への分別や減量化に向けた働きかけや10リッターの袋や転入者等への分かりやすい資料の要請があり、検討したいとの答弁でした。

汚泥再生処理センター新設の進捗状況は順調に進んでいるとの報告でした。委員から物価高騰や半導体等の世界的規模の品不足等の影響がないのか質問がありましたが、すでに発注済みで資材高騰の影響はなく、今現在の若干の遅れは9月末時点で追いつくのは確実ですが、電源部分、半導体の部分で10月末まで入らないと試運転に影響が出てきますので、その時には改めて全員協議会で報告するとのことでした。

7/28
給食費の納入状況・地元食材活用・アレルギー対策や異物混入等のトラブル処理マニュアル等〈給食センター〉

給食センター長から、給食費の未納には納付状況に応じて毎月適宜対応し、就学援助の周知やコンビニ収納などで減少していること、衛生管理や異物混入対応はマニュアルに沿って徹底していること、野菜を中心に地元産優先メニューを取り入れていること、食物アレルギーの児童生徒の把握と対応等について報告を受けました。

委員からは物価高騰の中給食費の無償化や特に水産系の地元産活用（いか飯等）について質疑があり、給食費は年度内は現状維持、無償化や水産系地元産については財源・価格で難しいとの答弁でした。

町民体育館視察とスポーツ振興・各体育施設の管理運営状況・コロナ禍の各種体育行事の取り組み〈体育課〉

体育課長よりスポーツ振興では、成年スポーツと少年スポーツでサークルや個人での活動を支援し、町民の健康維持管理のための適切な施設管理や行事の企画を進めているとの報告を受けました。

委員からトレーニング室の利用や町民体育館アリーナの床やロッカーの状況の改善を求める質疑があり、た。教育長から町民のンスポーツ環境が整うように、行きやすい、利用しやすい施設を目指していきたいとの答弁でした。

議会日誌

令和4年7月19日から令和4年10月19日までの議会の主な活動について、お知らせします。

令和4年

7月19日

令和4年第1回森町議会7月会議

広報広聴小委員会

「議会だより第111号の校正について」

7月22日

議会改革調査特別委員会

「検討課題（項目）の審査について」

7月25日　総務経済常任委員会

◎商工労働観光課

▶「花いっぱい運動について」
▶「道の駅（物産センター）の移転新築について」
▶「ふるさと納税の推進及び特産品の開発について」
▶「森町商店街の振興発展について」

◎防災交通課

▶「ハザードマップ改定後の取り組みについて」
▶「各町内会自主防災組織に推進について」
▶「津波発生時の砂原地区の避難行動計画について」

7月26日　民生文教常任委員会

◎環境課

▶「ゴミの分別状況について」
▶「不法投棄の現状と対策について」
▶「リサイクルプラザの稼働状況などについて」
▶「し尿処理場の現状と汚泥再生処理センター新築現場の進捗状況について」

7月27日　総務経済常任委員会

◎企画振興課・農林課

▶「地域おこし協力隊（新隊員）の取り組みについて」

◎農林課

▶「町有林の管理と現状について（分収林）」

◎企画振興課

▶「人口減少の歯止め対策について」
▶「地方バス生活路線の現状とデマンドバスの進捗状況について」

◎税務課

▶「コンビニ納税導入後の納税の変化について」

7月28日　民生文教常任委員会

◎給食センター

▶「給食費の収納状況と今後の対策について」
▶「衛生管理について」
▶「味・メニューなどについて」
▶「地元食材などを活かした取り組みについて」
▶「食事について給食センターとしての考え方について」
▶「アレルギー対策などについて」
▶「異物混入などトラブル発生時の処理マニュアルについて」

◎体育館

▶「スポーツ振興などの取り組み状況について」
▶「各体育施設の管理運営状況について」
▶「コロナ禍における各種体育行事及び大会運営の取り組みについて」

8月2日　総務経済常任委員会

◎契約管理課

▶「遊休施設等の（建物・土地）処理について」

8月10日　道南林活議連令和4年度現地研修会（松前町）

「テーマ：松前中学校～地材地消の学校つくりを目指して～」

8月26日　議会運営委員会

「9月会議に係る議会運営について」

9月1日～15日　令和4年第1回森町議会9月会議

9月5日～7日　令和3年度決算審査特別委員会

9月15日　議会運営委員会

「9月会議に係る追加議案について」

全員協議会

「新型コロナウイルスワクチンの誤接種について」

10月5日　広報広聴小委員会

「議会だより112号の編集について」

10月6日　道南林活議連総会及び研修会（せたな町）

10月13日　議会運営委員会

「10月会議に係る議会運営について」

議会改革調査特別委員会正副委員長会議

10月18日　森町議会10月会議

全員協議会

「駒ヶ岳小学校に係る方向性について」

渡島桧山管内市町議会議員研修会（北斗市）

10月20日　広報広聴常任委員会

◎総務課・企画振興課

▶「町のHP、SNSの運用状況と今後の活用方法について」

◎広報広聴常任委員会

▶ラインワークスの活用推進について
▶議会のHPと議会だより、YouTubeの位置づけと役割について

広報広聴小委員会

「議会だより112号の校正について」